

## 2) ゲート、ポンプの補修

ゲート、ポンプの破損や老朽化した箇所の補修等の対策を行うこと。

### 【活動のねらい】

水路に附帯するゲートやポンプにおいて、部品の破損、腐食や老朽化がみられた場合、当該箇所の部品交換や、塗装等によって、施設の機能維持を図ります。



ゲートの点検

### 【活動の内容】

#### 2-1) 計画

ゲートについては、目視及び操作をしながら部品の破損や老朽化の程度を点検します。ポンプについては、揚水能力の低下や異常な音・振動の状況を確認した上で必要に応じて専門業者に点検を依頼します。点検結果に応じて、対策方法を検討しますが、施設管理者や関係機関等と十分に相談することが大切です。

#### 2-2) 実施

ゲートにおいて、金属部品に錆の発生等がみられる場合は錆を取り除き、補修材や塗料を塗布する等の補修を行います。金属部品の錆の発生や減耗が著しい場合は新たな部品に交換します。また、水密ゴム（水密板）等ゴム部品の硬化や破損により、漏水が著しい場合はゴム部品を新たな部品に交換します。



ゲートの補修状況

ポンプにおいては、専門業者の点検結果に基づき、部品を交換します。

#### 2-3) 確認

ゲートにおいては操作がスムーズであり、ゲート全閉時に漏水がないことを確認します。ポンプは稼働させた際に異常な音・振動が無く、スムーズに動作することを確認します。

### 【配慮事項】

- ・作業に当たって道路を占有するときには、事前に関係機関（所轄警察署等）へ相談し、必要な手続きなどを行います
- ・ポンプ等で受電している場合は、確実に商用電源と切断されており、感電の恐れがないかを確認します。また、電気設備を補修する場合は、有資格者による作業が必要となる

場合もありますので、確認してください。

- ・規格品のゲート及び汎用水中ポンプの場合は、部品交換よりも新品に更新した方が安価になるケースも有りますので、比較検討してください。

**【ゲート、ポンプの補修】**

～活動例～

**○ゲートの補修**

・対象施設

ゲート（幅 0.4m、高さ 0.4m、25 箇所）

・活動内容

経年変化による戸当たり金物の腐食及び水密ゴムの劣化がみられた。そのため、腐食部分については、錆を研磨したのち補修材及び塗料を塗布した。水密ゴムについては新たなゴムと交換した。

・活動時期

3 月

・作業者

専門業者へ委託